



生活がわら版



結核について

● こんなときは病院へ

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。せきやタンが2週間以上続いたら、結核を疑って早めに医療機関で受診してください。症状が1ヶ月以上続く人からは25人に1人の割合で結核患者がみつかっています。

● 結核ってどうやってうつるの？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核菌の混ざったタンがせきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。これを「空気感染」といいます。せきが出る時はマスクをつけることをこころがけましょう。



● 感染したら、必ず発病するの？

10人が結核に感染した場合、発病するのは1人～2人です。通常は免疫機能が働いて、結核菌の増殖を抑えます。もしも、結核に感染し、発病したとしてもタンの中に結核菌を出していない軽症の場合は、他人にうつす恐れはありません。重症の結核でも薬を飲み始めると、タンの中の菌は激減します。せきが止まれば周りの人に感染させる危険性は少ないので、心配する必要はありません。



● 結核の予防

結核は、注意をしていればそれほど怖がる必要はありません。2週間以上せきが続くようでしたら、医療機関で受診しましょう。早期発見は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐ為にも重要です。抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命を危くする事すらあります。予防する為には、BCG接種が有効です。生後3～6ヶ月に接種しましょう。